



島みるセトレ
opening event
はじまりの晩餐

島みるセトレ はじまります。

セトレに欠かすことのできない淡路島と明石海峡大橋をのぞむ絶景。この目の前に広がる淡路島には、ここでしか出会えない自然、歴史、文化、そこで暮らす方々とその中で育まれる食材がありました。

「島みるセトレ」はこの素晴らしい島とみなさまを海を越えて橋渡しをする企画です。1年を通して様々な時間を提案していきます。

まずは、島の恵みを頂く晩餐会。

セトレと淡路島とのご縁を器にのせて。

2月22日(日)

16:30-20:00
(受付16:00)

会場 ホテルセトレ神戸・舞子
定員 50名
金額 5,000円(コース料理・ワンドリンク付)

事前予約制となっております。晩餐にはソムリエ選定のイタリアンワイン5種(2,000円)の他、お飲み物は単品でもご準備しております。

第1回 はじまりの晩餐

第1部 トークセッション (16:30-17:30)

淡路島をはじめ多くの地域で活躍される服部滋樹氏(graf代表)をお招きし、生産者、料理長も交えたトークセッションを行います。淡路島を眺めながら「島」のこと、自分や家族の「食」のことを楽しく考えてみませんか。トークを通してたくさんの出会いをお楽しみ下さい。

第2部 晩餐 (18:00-20:00)

「ミア・アルベルゴ」料理長の益田が、淡路島の生産の現場を訪ね歩き出会った食材を使い、この日限りの「はじまりの晩餐」のテーブルをご準備しました。生産者の皆さんと共に、一つ一つの食材に込められた物語をお楽しみください。



graf代表
服部 滋樹

1998年、大阪に"graf"をオープン。
2000年、"decorative mode no.3"を設立し、その後、"graf bld."を設立。
オリジナル家具の企画・製作・販売、建築設計、グラフィックデザインから食、アートにわたり広くクリエイティブ活動を展開する他、京都造形芸術大学 情報デザイン学科 教授として、教育分野でも活躍している。

